

『WE ARE FAMILY!』

中村 賢次郎

ながみねファミリーセンター地域の皆様、そして YMCA に様々な形でお関わりいただいている皆様 30 年ありがとうございます。皆様方に支えられこの歴史があることに感謝と次の歴史を創っていく責任とを感じます。ながみねファミリーセンターの合言葉は『WE ARE FAMILY』です。関わるすべての人がファミリーとして、仲間として、支え合い、高め合いながら歩んできました。



忘れもしない熊本地震。震災後すぐ私たち YMCA は避難所運営を行い、自宅に住めない方や一人では不安な方々を受け入れ、共同生活を行いました。実は、6 年前から託麻南校区 8 町内自治会と防災を考える会や防災訓練を持ちながら災害に備えておりました。そして、まさかのあの地震に皆がおびえ、苦しい時となりましたが、この備えのおかげで私たちは躊躇なく、避難所運営と復興支援活動に取り組みました。近隣の方々の避難生活を支え、プールの水は生活用水として 1 日 100 名以上に提供し、集まった物資を一人暮らしのお年寄りに届けたり益城町に届けたりしました。この経験を生かし、今後も安心安全なまちづくりの一員として自治会のみなさんと協力していきたいと思えます。

またながみねの代名詞でもある水泳では、子どもたちの水難事故をなくそう、水泳に自信を持つことで学校嫌いや何にでもチャレンジできる子どもたちを育てようという思いから「みんな泳げる 25m 運動」を行い現在全国の YMCA に広がっています。実はこの活動は水泳教室に通えない子どもたちの支援でもあり、この地域の子もたちが前向きで明るい未来づくりに貢献できる人になってもらいたいという願いが込められています。

30 年続く「ながみね祭」も、YMCA というよりも地域のお祭りとして毎年多くの方々に楽しんでいただいています。お祭りを通して人と人がつながる時間として愛されていることを感じます。このお祭りは、これまでも多くのボランティアの皆様を支えられています。本当にありがとうございます。

今日も、子どもたちの元気な声や、健康づくりに励む皆さんの明るいあいさつに包まれています。光とあたたかさにあふれる YMCA として、これからも地域のみなさまと共に歩んでまいります。